



速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号



3月16日(月)、保護者からこころのこもった千羽鶴が部員に渡された。

千羽鶴は野球部の保護者の方々が1週間の間に手につく



代表の方から千羽鶴を受け取る新谷主将。

また、昨日は昨年3月に卒業した先輩たちも多数来られた。先輩方は一昨年の春に県で優勝したメンバー。今の2年生部員たちが入学したときの3年生で、憧れの存在だったそうだ。先輩に選抜出場について話を聞くと、

# 気持ちのこもった千羽鶴



保護者から贈られた千羽鶴

これからも応援よろしくお願ひします」とお礼の言葉を述べた。

元副主将の園田高志さんは「2つ下の、知っている選手が出るので、OBとして応援したいです」、また当時のチームの4番打者で滋賀県選抜チームの代表にも選ばれた川越健一郎さんは「夢の大舞台で、自分たちが今までやってきたことを發揮して下さい」とエールを送って下さった。元主務の西村友佑さんは「OBとしても出場は喜ばしいことで、選手には全力でやって欲しい



先輩たちも一緒に。

また、その場では2年生の女子生徒が野球部のために作った歌のCDも披露された。「21世紀枠に選ばれた時の感動・喜びを歌にしたいと思ったのがきっかけで作りました。東高野球部を見たまま、感じたままに書きました」とのメッセージ通り「仲間とともに信じて歩んだこの道のり/いくつもの掛け声が重なり合いひとつの心になったとき/そこには新しい扉が開いて初めて出会う世界が広がってゆく」と、まさに今の野球部の姿が歌われている。その後、保護者の方から千羽鶴を受け取った主将の新谷直弘君(216)は「こうしてCDを作ってくれたり、応援して支えてくださっている人たちのためにも、一生懸命プレイするので、

先輩達を前に今井義尚先生は「毎年毎年の積み上げがあつて、みんなの頑張りがあつて、甲子園に行ける。今やっていることに間違いはない。先輩のがんばりが、自信にも安心にもつながっている」とおっしゃった。